第4次黒松内町総合計画策定のための

まちづくりアンケート調査報告書

≪概要版≫

平成 30 年7月

黒松内町

目　次

第１章　調査の概要 2
１．調査の概要 3
２．調査票の回収結果 3
３．集計結果の表し方 4

第２章　一般向けアンケート集計結果 5
１．回答者の属性 7
２．黒松内町への愛着度・定住意向 8
（１）黒松内町への愛着度 8
（２）黒松内町への定住意向 8
（３）黒松内町に住み続けたい理由 9
（４）黒松内町に住みたくない理由 9
３．近年、特に町が取り組んでいる施策について 10
４．黒松内町の施策・サービスについて 11
（１）現状の満足度 11
（２）満足度の高い項目 12
（３）満足度の低い項目 12
（４）評価点による満足度評価 13
（５）今後の重要度 16
（６）重要度の高い項目、低い項目 17
（７）評価点による重要度評価 18
（８）今後力を入れるべき項目 20
５．今後のまちづくりについて 23
（１）黒松内町の将来像 23
（２）産業振興で力を注ぐべき分野 24
（３）観光・交流の振興に向けて重要なこと 24
（４）少子化対策として力を注ぐべきこと 25
６．まちづくりへの住民参画について 26
（１）まちづくりに対する町民の意向の反映 26
（２）町民の声をまちづくりに活かしていくために大切なこと 26
（３）行政サービスや財政運営で、町が特に進めていくべきこと 27

第３章　中高生向けアンケート集計結果 29
１．回答者の属性 30
２．愛着度と定住意向 30
（１）黒松内町への愛着度 30
（２）黒松内町での暮らしやすさ 31
（３）今後の定住意向 31
（４）黒松内町に居住したい理由 31
（５）黒松内町に居住したくない理由 32
３．黒松内町の将来 32
（１）将来希望する黒松内町の姿 32
（２）今後、まちづくりで力を注ぐべきこと 33
（３）幸福感（豊かさ）とは何か 34

第１章　調査の概要

1．調査の概要

本調査は「第４次黒松内町総合計画」（平成 32～41 年度）を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	平成 30 年 4 月 30 日現在 一般向け　：黒松内町に在住する 18 歳以上の男女 2,214 人 中高生向け：黒松内町に在住する全中高生 144 人
抽出方法	一般向け　：悉皆（しっかい）調査（施設入所者以外、全量調査） 中高生向け：悉皆調査（全量調査）
調査期間	平成 30 年５～６月
調査方法	郵送による調査票の配布・回収

2．調査票の回収結果

■調査票の全体回収率

	配布数（票）	回収数（票）	回収率（%）	白票（票）	有効回収数（票）	有効回収率（%）
一般向け	2,214	892	40.3	10	882	39.8
中高生向け	144	85	59.0	0	85	59.0
合　計	2,358	977	41.4	10	967	41.0

■一般向け調査の年代別回収率

		配布数（票）	有効回収数（票）	有効回収率（%）	（参考）H20 有効回収率（%）
一般向け		2,214	882	39.8	51.7
	10 代	40	9	22.5	30.2
	20 代	202	66	32.7	
	30 代	245	77	31.4	41.9
	40 代	309	120	38.8	50.8
	50 代	326	130	39.9	51.5
	60 代	388	176	45.4	61.9
	70 歳以上	704	278	39.5	58.3
	無回答	-	26	-	-

３．集計結果の表し方

〇調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。

〇百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100％として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第１位までを表記しています。複数回答の設問では、すべての比率の合計が100％を超えることがあります。

〇クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（ｎ）として、各項目の回答者数を表記しています。

〇クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

〇過去に実施したアンケート調査との比較では、以下の表記を用いています。

- 「平成20年」：第３次黒松内町総合計画を策定する際に実施したまちづくりアンケート調査結果（18歳以上の施設入所者以外の町民全てを対象として実施）
- 「平成25年」：第３次黒松内町総合計画の中間評価として実施したまちづくりアンケート調査結果（18歳以上の町民から500人を抽出して実施）
- 「平成30年」：今回調査（18歳以上の施設入所者以外の町民全てを対象として実施）

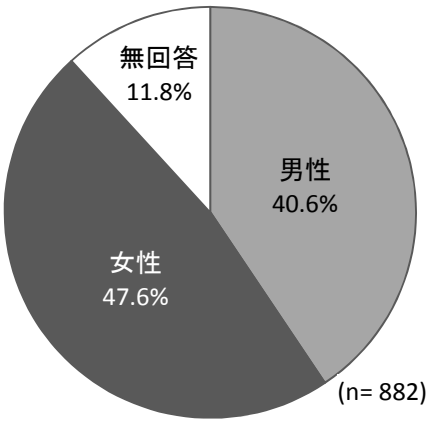
第２章　一般向けアンケート集計結果

1．回答者の属性

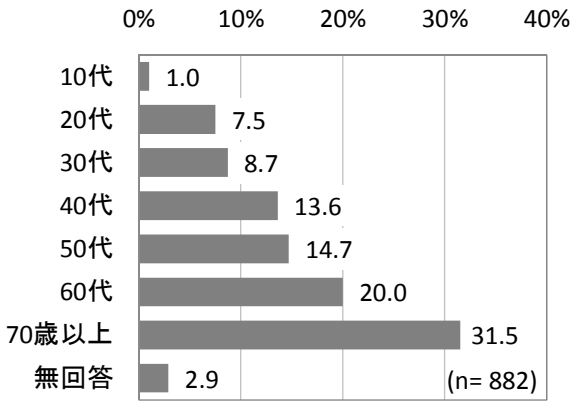
回答者の性別は「女性」が 47.6%で「男性」と比べてやや多く、年齢は「70 歳以上」が最も多く、年齢が低くなるにつれて少なくなっています。

黒松内町での居住年数は「20 年以上」、居住地区は「黒松内地区」が 70%以上を占めています。

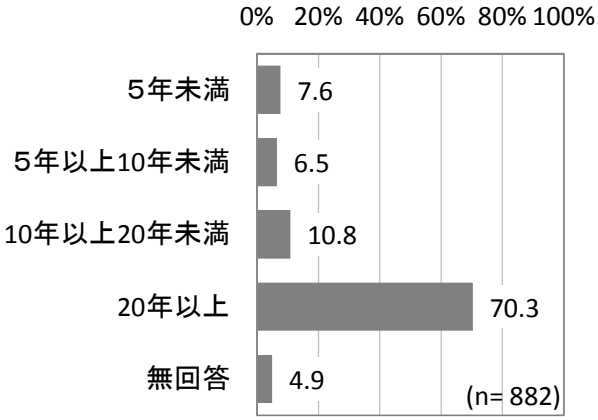
≪回答者の性別≫



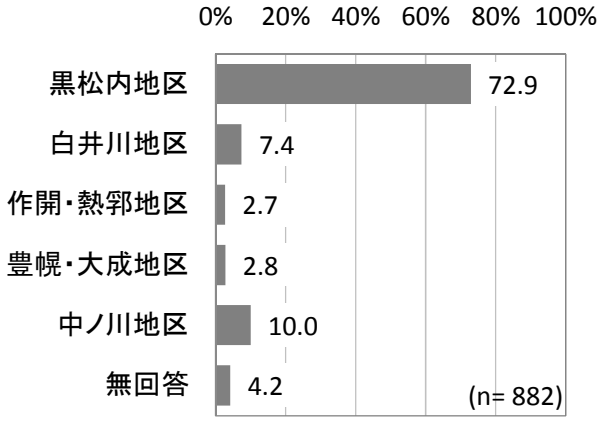
≪回答者の年齢≫



≪回答者の居住年数≫



≪回答者の居住地区≫

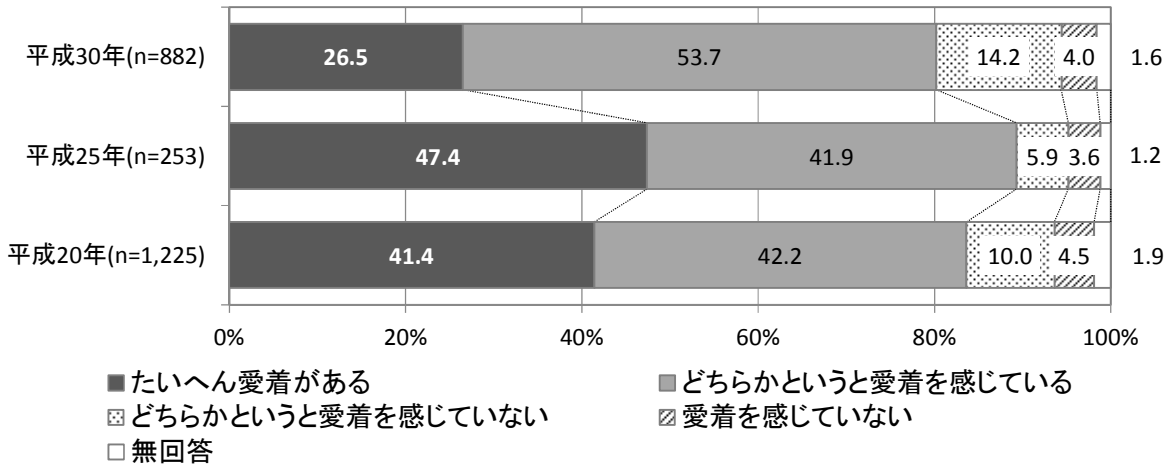


2．黒松内町への愛着度・定住意向

（1）黒松内町への愛着度

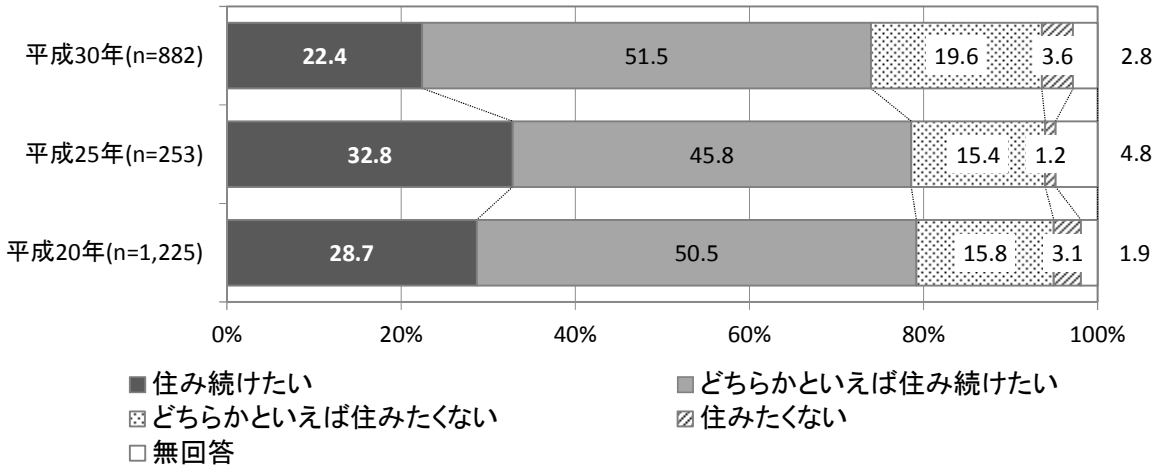
黒松内町への愛着度は、「たいへん愛着がある」（26.5%）と「どちらかというと愛着を感じている」（53.7%）の合計は 80.2%で他自治体と同等程度の水準です。

過去の調査との比較では「たいへん愛着がある」の割合が減少している一方、「どちらかというと愛着を感じている」、「どちらかというと愛着を感じていない」が増加しており、愛着度の低下が懸念されます。



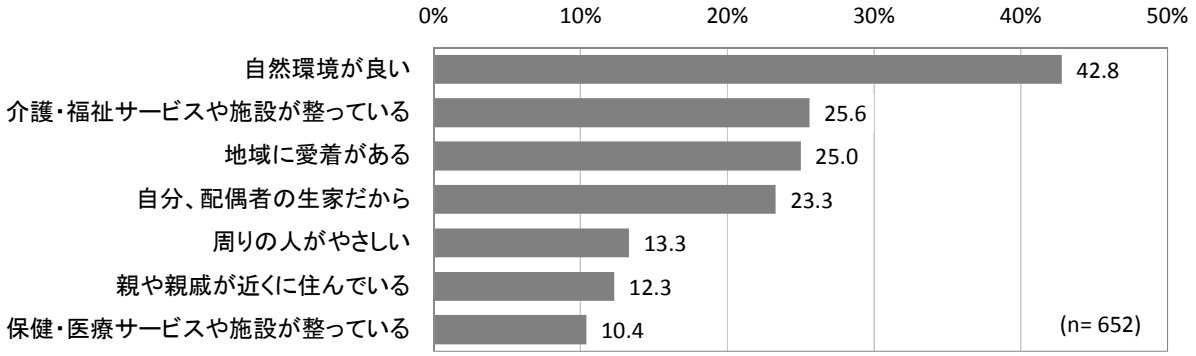
（2）黒松内町への定住意向

今後の黒松内町への定住意向は、「どちらかといえば住み続けたい」が 51.5%で最も高く、次いで「満足しているので住み続けたい」（22.4%）、「どちらかといえば住みたくない」（19.6%）と続いています。過去の調査と比較では定住意向のある人の割合はわずかに減少しています。



（3）黒松内町に住み続けたい理由

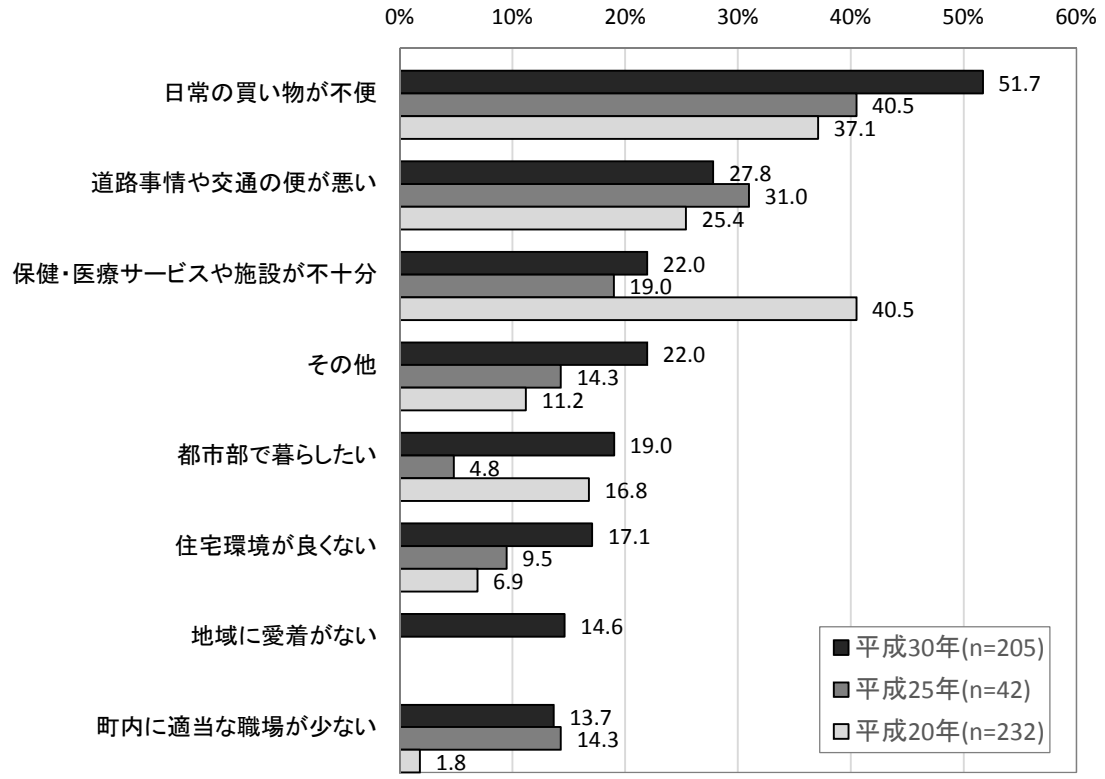
黒松内町に住み続けたい理由は、「自然環境が良い」が 42.8%で最も高く、次いで「介護・福祉サービスや施設が整っている」（25.6%）、「地域に愛着がある」（25.0%）と続いています。



（4）黒松内町に住みたくない理由

黒松内町に住みたくない理由は、「日常の買い物が不便」が 51.7%で突出しており、次いで「道路事情や交通の便が悪い」（27.8%）、「保健・医療サービスや施設が不十分」（22.0%）と続いています。

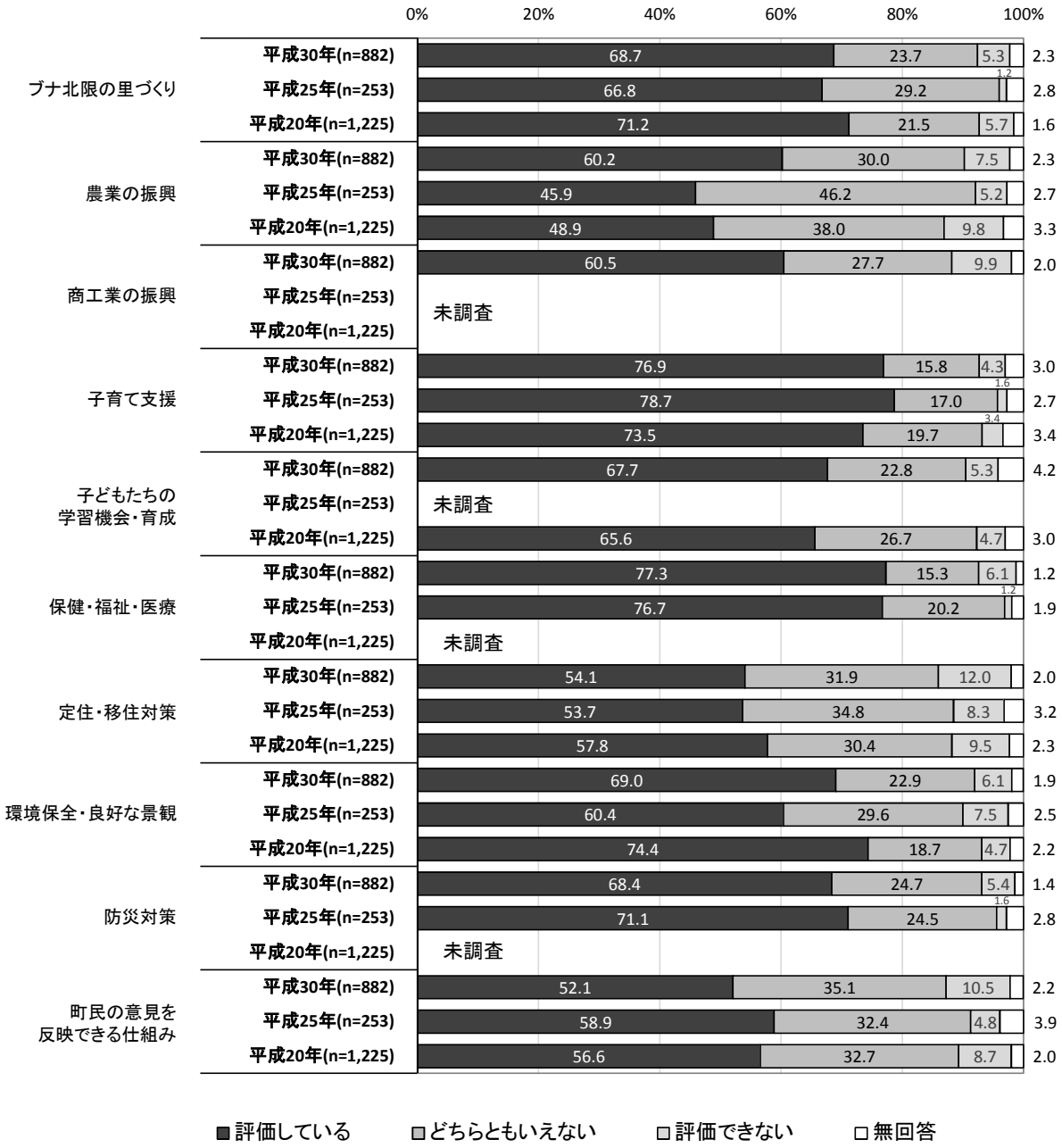
過去の調査との比較では、「日常の買い物が不便」の割合が徐々に高くなっている一方、「保健・医療サービスや施設が不十分」が平成 20 年の 40.5%から大きく低下しています。



3．近年、特に町が取り組んでいる施策について

近年、町が取り組んでいる施策のうち、「評価している」「どちらかといえば評価している」の合計が多い上位３施策は「⑥保健・福祉・医療について」（77.3%）、「④子育て支援について」（76.9%）、「⑧環境保全・良好な景観について」（69.0%）となっています。

平成 25 年との比較で「評価している」が伸びた施策は、「農業の振興について」が 14.3 ポイント増、「環境保全・良好な景観について」が 8.6 ポイント増となっています。一方、「町民の意見を反映できる仕組みづくりについて」は 6.8 ポイント、「防災対策について」が 2.7 ポイント減少しています。



4．黒松内町の施策・サービスについて

（1）現状の満足度

（2）満足度の高い項目

「満足している」「やや満足」の合計でみると、平成30年調査の上位３項目である「㉜水道」「㉝下水道・浄化槽」「⑲保健サービス」は、過去の調査でも上位となっており、高い満足度を維持できている状況です。満足度が大きく上昇した項目は「⑳医療体制」で、満足の合計は平成20年の31.3%から53.8%へと22.5ポイント高くなっています。

順位	満足度が高い 10 項目	平成 30 年調査結果（%）			平成25年調査結果		平成20年調査結果	
		満足している（A）	やや満足（B）	満足の合計 (A)+(B)	満足の合計（%）	順位	満足の合計（%）	順位
1	㉜水道	29.0	36.5	65.5	60.1	4	58.4	1
2	㉝下水道・浄化槽	26.2	36.7	62.9	60.5	2	56.6	2
3	⑲保健サービス	15.9	43.4	59.3	70.4	1	56.2	3
4	㊴消防・救急	20.2	36.7	56.9	58.5	6	55.0	5
5	㉛雪対策	19.8	36.2	56.0	52.2	15	49.9	9
6	㉔子育て支援	16.4	38.7	55.1	55.7	7	51.2	7
7	⑳医療体制	16.2	37.6	53.8	39.9	25	31.3	29
8	㊱ごみ処理等環境衛生対策	19.2	34.7	53.9	54.2	9	51.9	6
9	㉒高齢者施策	15.2	37.5	52.7	59.3	5	47.3	13
10	⑫スポーツ振興	12.4	38.9	51.3	60.5	2	50.4	8

（3）満足度の低い項目

「不満」「やや不満」の合計でみると、過去の調査でも上位だった「㊲公共交通機関」「⑥商業」「⑦雇用・労働者対策」は平成30年調査においても上位となっており、その割合も高くなっています。また、今回の調査では「⑳医療体制」は不満の合計が少なくなったものの、「⑧住宅・宅地」「⑨定住・移住対策」は不満の合計が過去と比べて5ポイント以上増加しています。

順位	満足度が低い 10 項目	平成 30 年調査結果（%）			平成25年調査結果		平成20年調査結果	
		不満（A）	やや不満（B）	不満の合計 (A)+(B)	不満の合計（%）	順位	不満の合計（%）	順位
1	㊲公共交通機関	23.1	20.3	43.4	20.2	2	30.6	2
2	⑥商業	19.2	5.8	25.0	17.4	3	18.8	4
3	⑦雇用・労働者対策	15.1	6.2	21.3	17.4	3	20.7	3
4	⑤工業	12.8	5.2	18.0	12.3	7	17.5	7
5	⑧住宅・宅地	11.0	6.7	17.7	12.6	5	10.5	15
6	㉛雪対策	12.1	5.6	17.7	12.6	5	17.1	8
7	⑨定住・移住対策	9.8	6.3	16.1	9.5	9	10.3	16
8	⑳医療体制	9.5	6.5	16.0	20.9	1	31.2	1
9	①農業	10.0	2.6	12.6	9.5	9	17.7	6
10	④観光	9.8	2.8	12.6	5.9	20	10.0	18

（4）評価点による満足度評価

■評価点の計算方法について

問６の各項目の満足度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、満足度の選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※満足度の評価点（加重平均）の算出方法

評 価 点 ＝ ｛「満足している」の回答者数 × １０点
「やや満足」の回答者数 × ５点
「どちらともいえない」の回答者数 × ０点
「やや不満」の回答者数 × －５点
「不満」の回答者数 ×－１０点｝ ÷無回答以外の回答者数

① 各項目に関する現状の満足度評価（単位：評価点）

	全体	居住地域別				
		黒松内地区	作開・熱郛地区	中ノ川地区	豊幌・大成地区	白井川地区
①農業	0.91	0.87	1.64	1.67	2.94	0.47
②林業	1.38	1.29	1.83	1.90	2.65	1.51
③水産業	0.62	0.57	1.00	0.50	1.47	0.41
④観光	1.62	1.65	1.13	2.38	2.94	1.78
⑤工業	-0.28	-0.38	0.60	0.71	1.56	-0.68
⑥商業	-0.24	-0.36	0.16	0.95	2.35	-0.26
⑦雇用・労働者対策について	-0.17	-0.22	0.00	0.00	1.47	-0.07
⑧住宅・宅地	0.86	0.83	1.80	2.38	0.63	0.74
⑨定住・移住対策	0.47	0.52	0.41	1.90	0.88	0.21
⑩学校教育	2.42	2.37	2.92	3.33	4.41	2.01
⑪生涯学習	2.91	3.00	2.50	3.33	5.00	2.25
⑫スポーツ振興	3.02	3.23	2.92	2.86	3.53	2.01
⑬文化芸術や文化遺産	2.85	2.90	2.94	2.86	5.28	2.50
⑭青少年の健全育成	1.48	1.37	1.85	1.75	3.61	2.04
⑮国際化、国際交流	1.91	1.93	2.26	3.10	1.67	1.81
⑯地域間交流	2.22	2.26	2.66	1.67	2.94	2.12
⑰男女共同参画	1.07	1.02	1.19	2.62	2.22	0.89
⑱人権尊重	1.04	1.02	1.11	1.90	2.22	0.89
⑲保健サービス	3.69	3.57	4.14	4.52	5.56	3.92
⑳医療体制	2.55	2.15	3.36	3.57	5.50	4.42
㉑地域福祉体制	2.21	2.15	2.06	3.57	3.61	2.57
㉒高齢者施策	3.13	3.07	2.58	3.86	4.50	4.23
㉓障がい者施策	2.96	2.99	2.58	3.10	5.00	3.11
㉔子育て支援	3.60	3.79	3.47	3.81	3.61	2.70
㉕社会保障（生活保護・国保・年金）	1.91	1.86	2.27	3.33	3.61	1.62
㉖消費者保護	1.23	1.08	1.25	2.62	3.33	1.64
㉗土地利用	0.74	0.57	1.31	2.38	1.39	1.27
㉘自然の保護、環境の保全	2.25	2.28	1.64	2.86	3.61	2.19
㉙景観	1.96	1.90	1.90	2.38	3.57	2.05
㉚公園・緑地	1.77	1.85	1.43	2.86	3.33	1.30
㉛雪対策	2.76	2.68	3.05	3.26	5.00	2.59
㉜水道	4.59	4.70	3.69	4.05	4.44	4.94
㉝下水道・浄化槽	4.37	4.64	2.86	4.77	2.65	4.30
㉞道路	2.54	2.66	2.38	1.59	3.95	1.88
㉟河川整備・治山治水対策	1.87	1.81	2.22	0.68	3.24	2.30
㊱ごみ処理等環境衛生対策	3.26	3.28	2.97	3.18	5.95	3.33
㊲公共交通機関	-2.42	-2.89	-1.56	-0.87	1.11	-0.96
㊳情報通信	1.20	1.05	1.69	1.14	3.89	1.22
㊴消防・救急	3.77	3.70	3.81	4.29	5.56	4.29
㊵防災	2.95	2.88	2.50	4.09	4.44	3.40
㊶交通安全	2.63	2.58	2.11	2.73	4.44	3.36
㊷防犯	2.23	2.21	2.03	2.95	3.89	2.60
㊸行財政改革	1.48	1.30	1.90	1.82	3.06	1.99
㊹住民と行政との協働	1.18	0.98	1.64	1.90	2.78	1.67
㊺コミュニティ	1.15	1.04	1.19	1.82	3.06	1.18

※数値が大きいほど満足度が高い。また、プラス値は満足の方が多く、マイナス値は不満の方が多い。

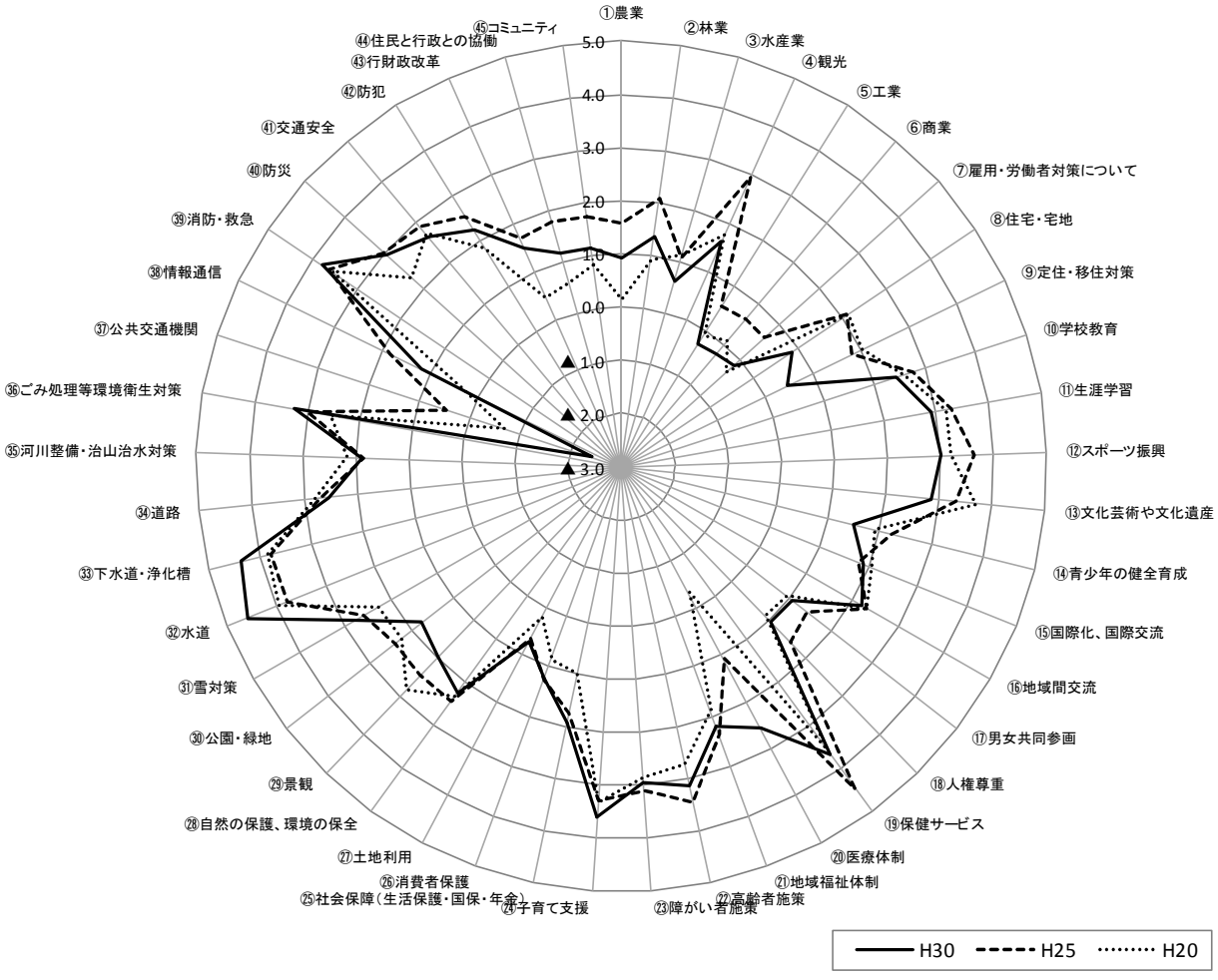
評価点による満足度においても、「㉜水道」が 4.59 で最も評価点が高く、次いで「㉝下水道・浄化槽」（4.37）、「㊴消防・救急」（3.77）と続いています。

また、「㊲公共交通機関」は-2.42 で最も評価点が低く、次いで「⑤工業」（-0.28）、「⑥商業」（-0.24）と続いています。また、「㊲公共交通機関」は平成 25 年調査と比べて評価点が-2.89 ポイント低下しています。

≪満足度評価／全体≫

上位５項目			
順位	項　目	評価点	平成25年比
1	㉜水道	4.59	0.82
2	㉝下水道・浄化槽	4.37	0.56
3	㊴消防・救急	3.77	0.13
4	⑲保健サービス	3.69	-0.80
5	㉔子育て支援	3.60	0.30

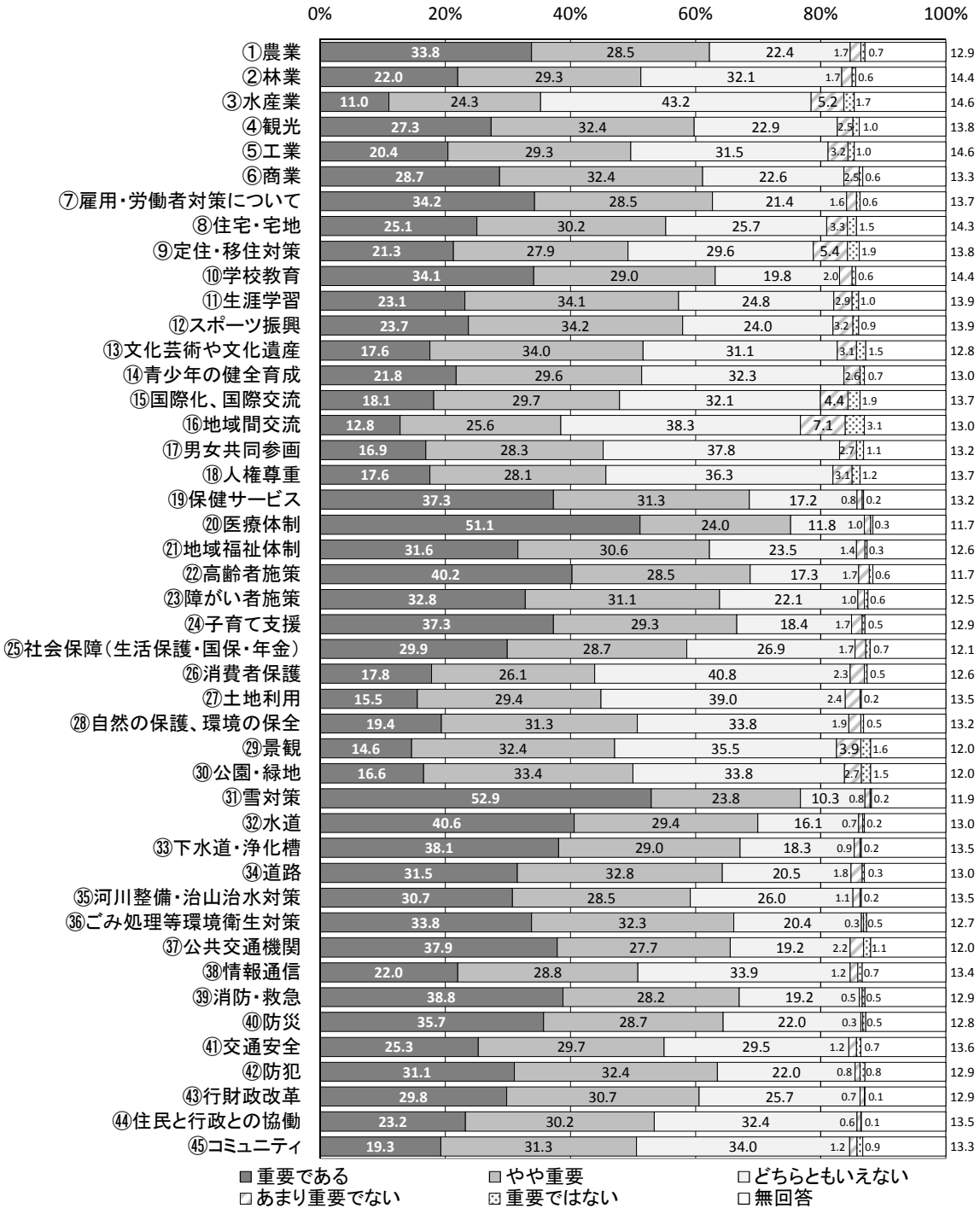
下位５項目			
順位	項　目	評価点	平成25年比
1	㊲公共交通機関	-2.42	-2.89
2	⑤工業	-0.28	-0.85
3	⑥商業	-0.24	-0.76
4	⑦雇用・労働者対策について	-0.17	-0.78
5	⑨定住・移住対策	0.47	-1.35



（5）今後の重要度

問６　黒松内町の現状と今後の取り組みについておたずねします。

（２）あなたは、黒松内町の今後の取り組みについて、どの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号１つに○印を付けてください。



（6）重要度の高い項目、低い項目

「重要である」「やや重要である」の合計は、「㉛雪対策」が 76.7%で最も高く、次いで「⑳医療体制」（75.1%）、「㉜水道」（70.0%）と続いています。

一方、「あまり重要ではない」「重要ではない」の合計は、「⑯地域間交流」が 10.2%で最も高く、次いで「⑨定住・移住対策」（7.3%）、「③水産業」（6.9%）と続いています。

≪重要度各 10 項目≫

重要度の高い上位 10 項目

順位	項　目	重要の合計（%）
1	㉛雪対策	76.7
2	⑳医療体制	75.1
3	㉜水道	70.0
4	㉒高齢者施策	68.7
5	⑲保健サービス	68.6
6	㉝下水道・浄化槽	67.1
7	㊴消防・救急	67.0
8	㉔子育て支援	66.6
9	㊱ごみ処理等環境衛生対策	66.1
10	㊲公共交通機関	65.5

重要度の低い下位 10 項目

順位	項　目	重要ではないの合計（%）
1	⑯地域間交流	10.2
2	⑨定住・移住対策	7.3
3	③水産業	6.9
4	⑮国際化、国際交流	6.3
5	㉙景観	5.5
6	⑧住宅・宅地	4.8
7	⑬文化芸術や文化遺産	4.6
8	⑱人権尊重	4.3
9	⑤工業	4.2
10	㉚公園・緑地	4.2

■評価点の計算方法について

問６の各項目の重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、重要度の選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。

※重要度の評価点（加重平均）の算出方法

評 価 点 ＝ {「重要である」の回答者数 × １０点 / 「やや重要である」の回答者数 × ５点 / 「どちらともいえない」の回答者数 × ０点 / 「あまり重要でない」の回答者数 × －５点 / 「重要ではない　」の回答者数 ×－１０点} ÷無回答以外の回答者数

（7）評価点による重要度評価

①　評価点による重要度一覧

	全体	居住地域別				
		黒松内地区	作開・熱郛地区	中ノ川地区	豊幌・大成地区	白井川地区
①農業	5.34	5.38	5.26	7.00	4.41	5.22
②林業	4.11	4.03	4.82	5.00	4.12	3.86
③水産業	2.20	2.23	2.72	3.06	2.94	1.52
④観光	4.79	4.96	5.18	5.00	4.71	3.79
⑤工業	3.80	3.86	3.66	4.21	4.41	3.66
⑥商業	4.97	5.22	4.14	5.26	5.29	3.94
⑦雇用・労働者対策について	5.46	5.52	5.95	6.32	5.88	4.69
⑧住宅・宅地	4.32	4.41	3.88	4.21	4.38	4.40
⑨定住・移住対策	3.55	3.68	3.05	2.89	4.06	3.64
⑩学校教育	5.50	5.60	5.78	4.74	5.00	5.55
⑪生涯学習	4.38	4.63	3.77	3.68	5.00	3.20
⑫スポーツ振興	4.45	4.61	4.48	3.95	5.31	3.54
⑬文化芸術や文化遺産	3.62	3.79	3.25	3.33	5.59	2.77
⑭青少年の健全育成	3.98	4.02	4.00	3.95	4.41	3.85
⑮国際化、国際交流	3.34	3.52	3.22	4.21	2.06	2.86
⑯地域間交流	2.18	2.23	2.80	1.84	4.12	1.52
⑰男女共同参画	3.29	3.35	3.42	4.47	4.41	2.50
⑱人権尊重	3.34	3.40	3.33	3.42	3.82	2.94
⑲保健サービス	6.02	6.20	5.59	6.32	5.88	5.86
⑳医療体制	7.05	7.21	7.37	7.37	6.67	6.72
㉑地域福祉体制	5.25	5.40	4.92	4.74	5.83	5.23
㉒高齢者施策	6.01	6.14	5.83	6.05	5.28	6.25
㉓障がい者施策	5.40	5.47	5.33	3.95	6.94	5.52
㉔子育て支援	5.81	5.99	5.50	5.00	5.88	5.55
㉕社会保障（生活保護・国保・年金）	4.86	4.79	5.67	4.47	7.06	5.07
㉖消費者保護	3.35	3.18	4.24	3.68	5.00	3.85
㉗土地利用	3.33	3.16	4.07	5.26	5.63	3.33
㉘自然の保護、環境の保全	3.87	4.00	3.45	4.21	3.82	3.59
㉙景観	3.11	3.08	3.42	2.63	4.17	3.28
㉚公園・緑地	3.46	3.56	3.33	3.42	3.24	3.41
㉛雪対策	7.29	7.40	7.03	5.56	6.94	8.00
㉜水道	6.29	6.35	6.03	5.53	6.94	6.71
㉝下水道・浄化槽	6.00	6.11	5.86	5.56	5.83	5.86
㉞道路	5.37	5.29	5.78	5.79	5.26	5.93
㉟河川整備・治山治水対策	5.10	5.06	5.68	5.28	4.72	5.65
㊱ごみ処理等環境衛生対策	5.65	5.76	5.51	4.17	6.84	5.74
㊲公共交通機関	5.63	5.67	5.00	4.47	5.83	6.48
㊳情報通信	4.05	3.99	4.74	3.33	4.72	4.49
㊴消防・救急	6.00	6.00	6.21	5.88	7.22	6.13
㊵防災	5.67	5.64	5.68	5.28	6.39	6.30
㊶交通安全	4.49	4.35	4.92	4.72	6.67	5.07
㊷防犯	5.29	5.23	5.34	4.72	6.67	5.93
㊸行財政改革	5.14	5.14	5.68	5.00	4.44	5.14
㊹住民と行政との協働	4.38	4.39	4.58	3.61	5.00	4.63
㊺コミュニティ	3.85	3.80	4.15	3.61	4.17	4.34

※数値が大きいほど重要度が高い

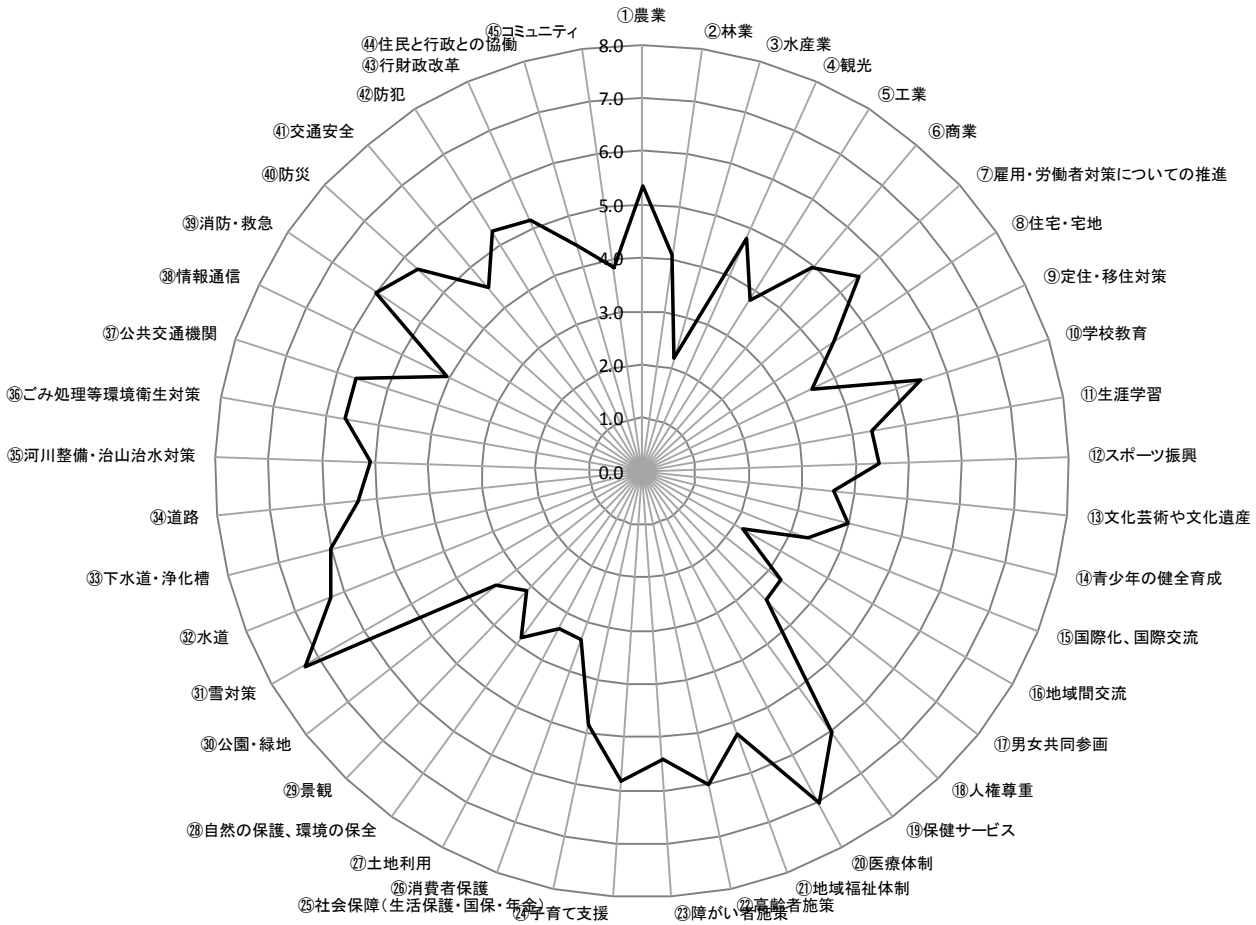
評価点による重要度においても、「㉛雪対策」が 7.29 で最も評価点が高く、次いで「⑳医療体制」（7.05）、「㉜水道」（6.29）と続いています。

また、「⑯地域間交流」は 2.18 で最も評価点が低く、次いで「③水産業」（2.20）、「㉙景観」（3.11）と続いています。

≪重要度評価／全体≫

上位５項目		
順位	項　目	評価点
1	㉛雪対策	7.29
2	⑳医療体制	7.05
3	㉜水道	6.29
4	⑲保健サービス	6.02
5	㉒高齢者施策	6.01

下位５項目		
順位	項　目	評価点
1	⑯地域間交流	2.18
2	③水産業	2.20
3	㉙景観	3.11
4	⑰男女共同参画	3.29
5	㉗土地利用	3.33



（8）今後力を入れるべき項目

町の各項目についての満足度と重要度に関して偏差値による分析※を行い、改善度を算出しました。また、改善度がプラスの項目を“改善の優先度が高いと思われる項目”、マイナスの項目を“改善の優先度が低いと思われる項目”として整理しました。

この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位３項目を抽出したところ、全体では「㊲公共交通機関」「⑦雇用・労働者対策について」「⑥商業」となり、これらの項目は改善の優先度が非常に高いと考えられます。

≪改善の優先度が非常に高い項目（改善度が高い上位３項目）≫

地　区		改善の優先度が非常に高い項目	改善度
全　体		㊲公共交通機関	10.39
		⑦雇用・労働者対策について	2.58
		⑥商業	2.19
居住地区	黒松内地区	㊲公共交通機関	11.21
		⑦雇用・労働者対策について	2.34
		⑥商業	2.30
	作開・熱郛地区	㊲公共交通機関	9.61
		⑦雇用・労働者対策について	4.03
		⑥商業	1.62
	中ノ川地区	㊲公共交通機関	6.26
		⑦雇用・労働者対策について	5.80
		①農業	3.36
	豊幌・大成地区	㊲公共交通機関	2.72
		⑧住宅・宅地	2.48
		⑦雇用・労働者対策について	2.06
	白井川地区	㊲公共交通機関	5.77
		⑤工業	2.26
		㊲雪対策	2.26

※偏差値による分析について

満足度評価と重要度評価それぞれの偏差値を算出し、重要度偏差値を横軸に、満足度偏差値を縦軸にとり、散布図に各項目をプロットします。

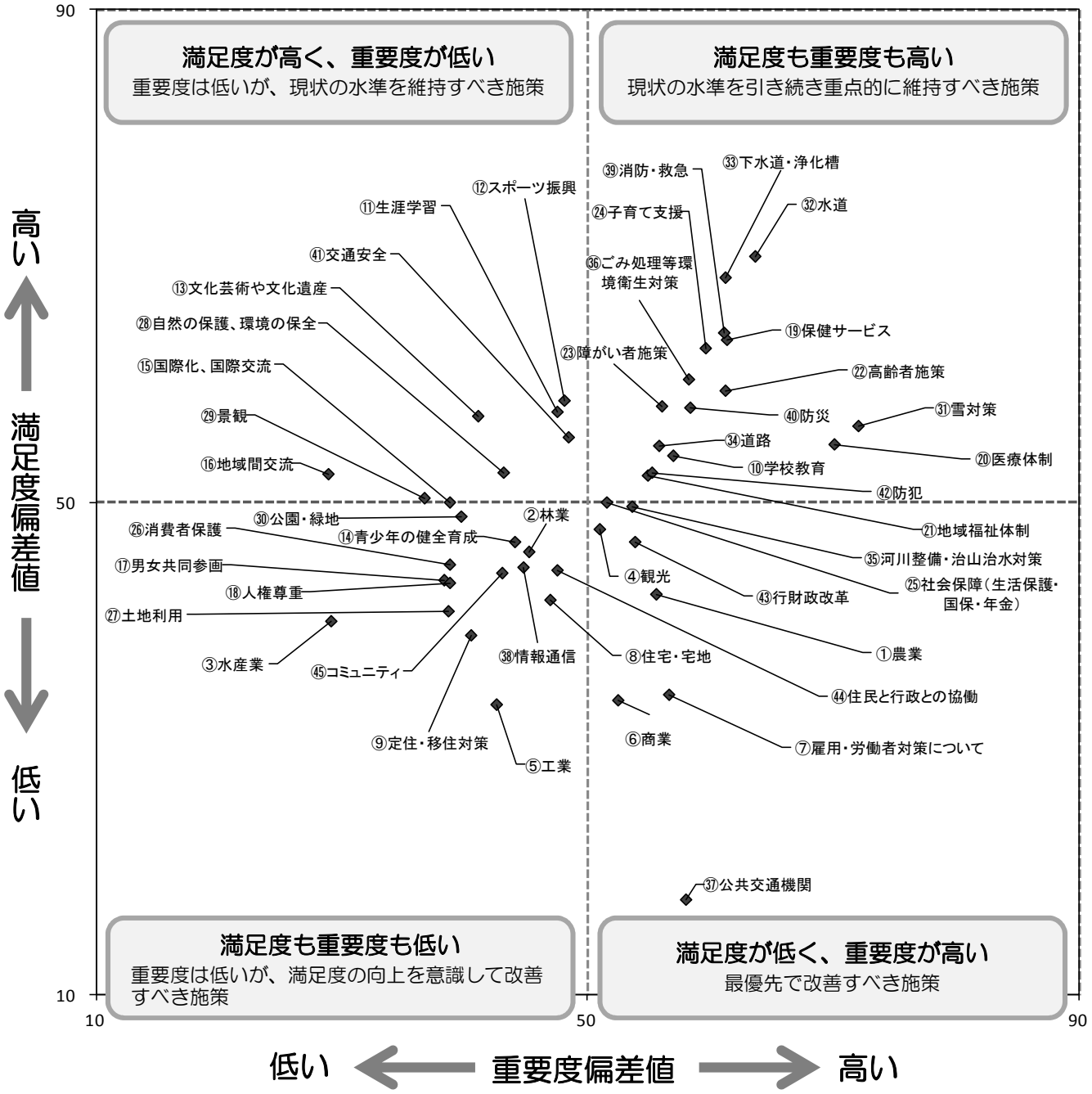
改善度は、プロットの原点（満足度偏差値 50 および重要度偏差値 50 の位置）からの距離×修正指数で算出し、原点からの距離、修正指数は以下の計算式で算出します。

$$\text{距離} = \sqrt{(x-\overline{x})^2+(y-\overline{y})^2} \qquad \text{修正指数 } r = \frac{90-\text{角度}}{90}$$

①　全体の満足度偏差値と重要度偏差値

項　　目	全　体			
	満足度 偏差値	重要度 偏差値	改善度	改善の 優先順
①農業	42.50	55.61	0.79	7
②林業	45.94	45.25	-0.03	22
③水産業	40.30	29.13	-2.34	44
④観光	47.76	50.97	0.05	18
⑤工業	33.60	42.60	1.35	6
⑥商業	33.93	52.47	2.19	3
⑦雇用・労働者対策について	34.40	56.63	2.58	2
⑧住宅・宅地	42.11	46.99	0.29	8
⑨定住・移住対策	39.20	40.52	0.15	11
⑩学校教育	53.73	56.94	0.15	12
⑪生涯学習	57.37	47.52	-0.46	33
⑫スポーツ振興	58.21	48.13	-0.51	35
⑬文化芸術や文化遺産	56.96	41.10	-1.15	42
⑭青少年の健全育成	46.75	44.10	-0.12	26
⑮国際化、国際交流	49.94	38.76	-0.90	41
⑯地域間交流	52.26	28.96	-3.76	45
⑰男女共同参画	43.63	38.30	-0.55	36
⑱人権尊重	43.45	38.76	-0.47	34
⑲保健サービス	63.16	61.41	-0.16	27
⑳医療体制	54.68	70.10	1.62	5
㉑地域福祉体制	52.15	54.88	0.09	16
㉒高齢者施策	59.02	61.26	0.17	10
㉓障がい者施策	57.74	56.09	-0.09	24
㉔子育て支援	62.48	59.62	-0.24	29
㉕社会保障（生活保護・国保・年金）	49.95	51.60	0.02	20
㉖消費者保護	44.87	38.78	-0.57	37
㉗土地利用	41.19	38.63	-0.29	31
㉘自然の保護、環境の保全	52.41	43.21	-0.44	32
㉙景観	50.30	36.75	-1.30	43
㉚公園・緑地	48.86	39.74	-0.67	38
㉛雪対策	56.22	72.10	1.80	4
㉜水道	69.92	63.65	-0.72	39
㉝下水道・浄化槽	68.28	61.22	-0.74	40
㉞道路	54.59	55.83	0.05	17
㉟河川整備・治山治水対策	49.63	53.63	0.09	15
㊱ごみ処理等環境衛生対策	59.96	58.23	-0.12	25
㊲公共交通機関	17.67	58.03	10.39	1
㊳情報通信	44.65	44.73	0.00	21
㊴消防・救急	63.81	61.16	-0.24	30
㊵防災	57.65	58.41	0.05	19
㊶交通安全	55.28	48.48	-0.23	28
㊷防犯	52.34	55.22	0.10	14
㊸行財政改革	46.73	53.90	0.23	9
㊹住民と行政との協働	44.45	47.54	0.13	13
㊺コミュニティ	44.23	43.03	-0.08	23

≪満足度偏差値と重要度偏差値の相関（全体）≫

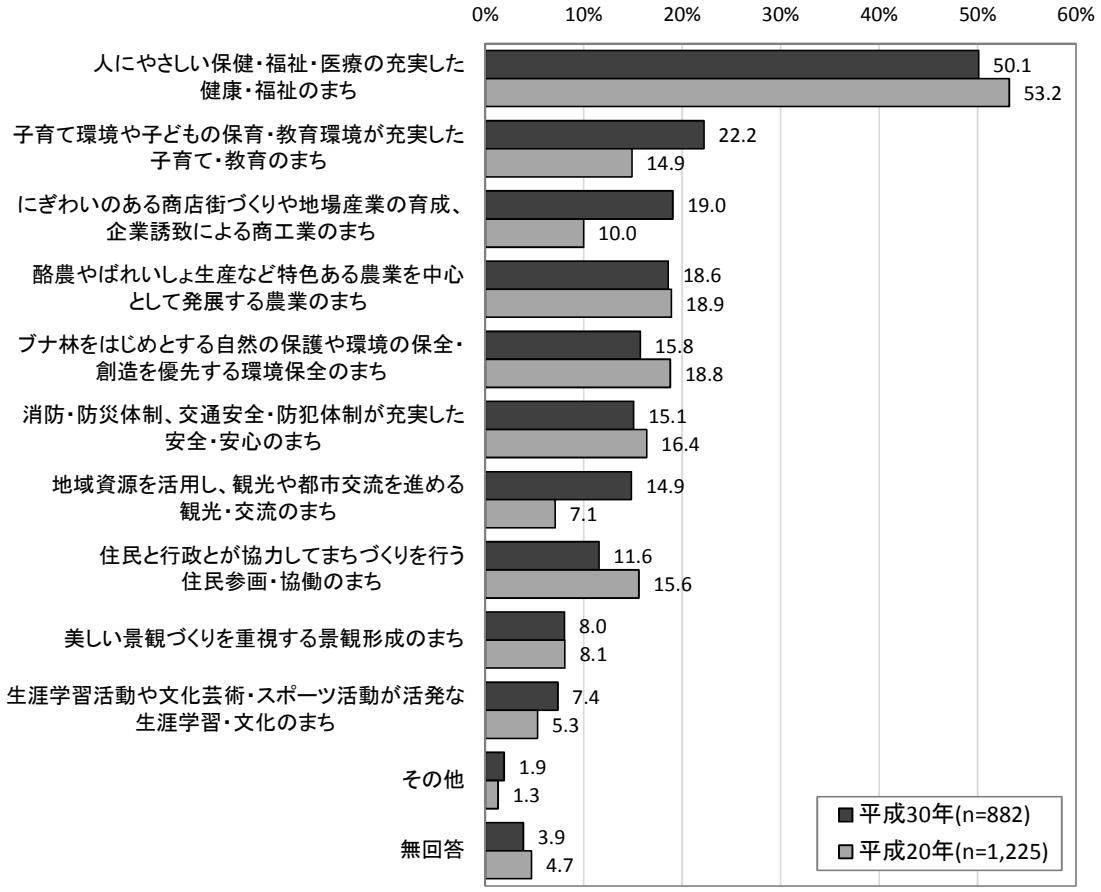


5．今後のまちづくりについて

（1）黒松内町の将来像

今後、黒松内町をどのような特色のあるまちにすべきかについては、「人にやさしい保健・福祉・医療の充実した健康・福祉のまち」が 50.1%で最も高くなっています。

平成 20 年調査と比べて増加したのは、「にぎわいのある商店街づくりや地場産業の育成、企業誘致による商工業のまち」が 9.0 ポイント増、「地域資源を活用し、観光や都市交流を進める観光・交流のまち」が 7.8 ポイント増となっています。

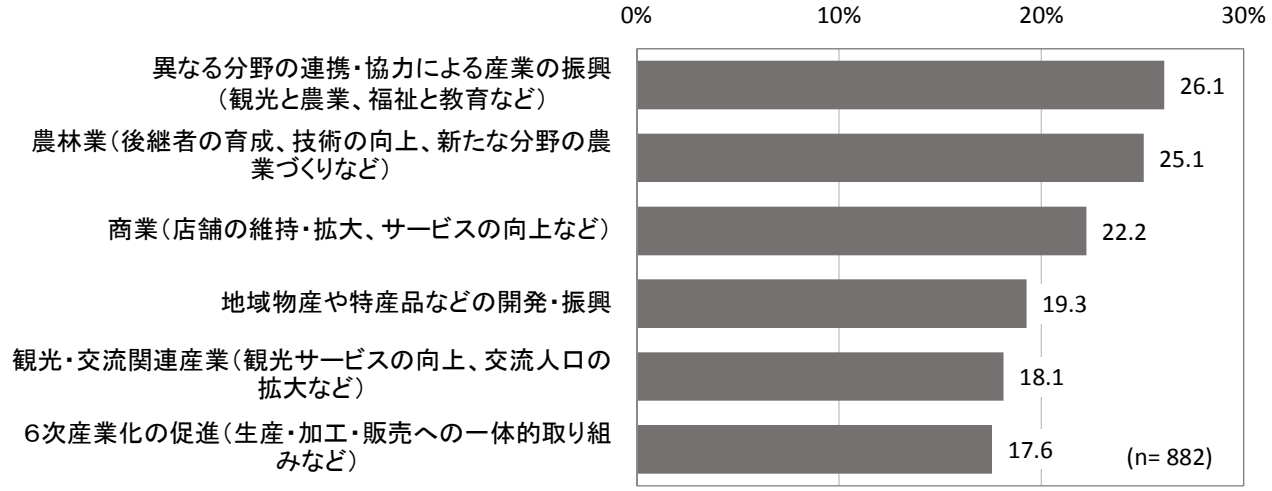


※平成25年調査における選択肢は平成20年及び平成30年調査の選択肢と共通部分が少ないため、比較対象外としています。

【その他内容】
- 高校生になっても地元が良いと思えるまち。
- 人とのつながり。
- 人口減少し続けているのに特色なんて無理。
- 人口減少の原因を探り、対応を考え実施すること。
- 役場、民間を含めたプロジェクトチームで検討。

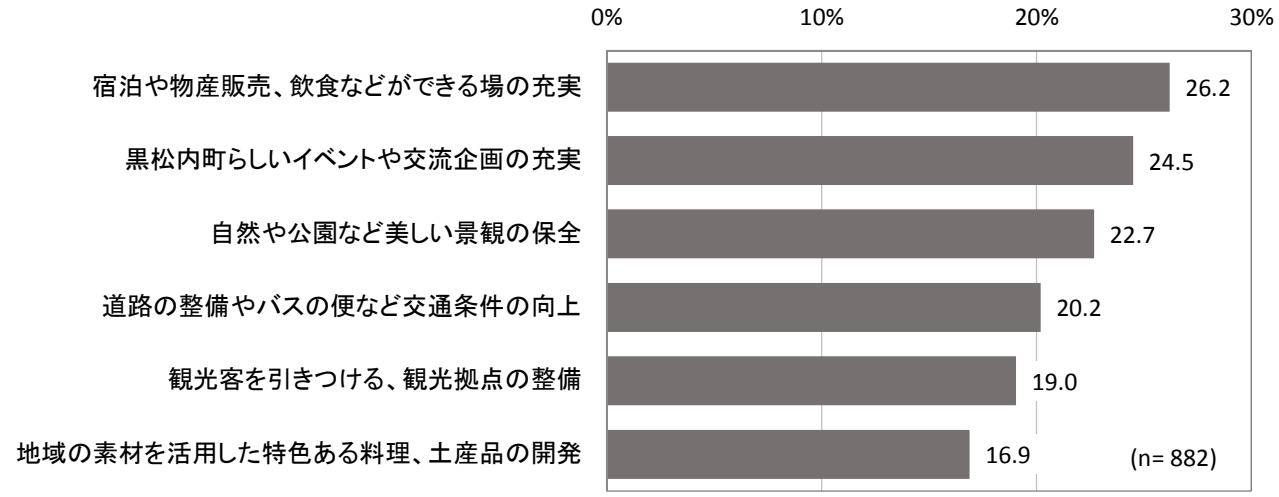
（2）産業振興で力を注ぐべき分野

産業振興について特に力を注ぐべき分野は、「異なる分野の連携・協力による産業の振興（観光と農業、福祉と教育など）」が 26.1%で最も高く、次いで「農林業（後継者の育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど）」（25.1%）、「商業（店舗の維持・拡大、サービスの向上など）」（22.2%）と続いています。



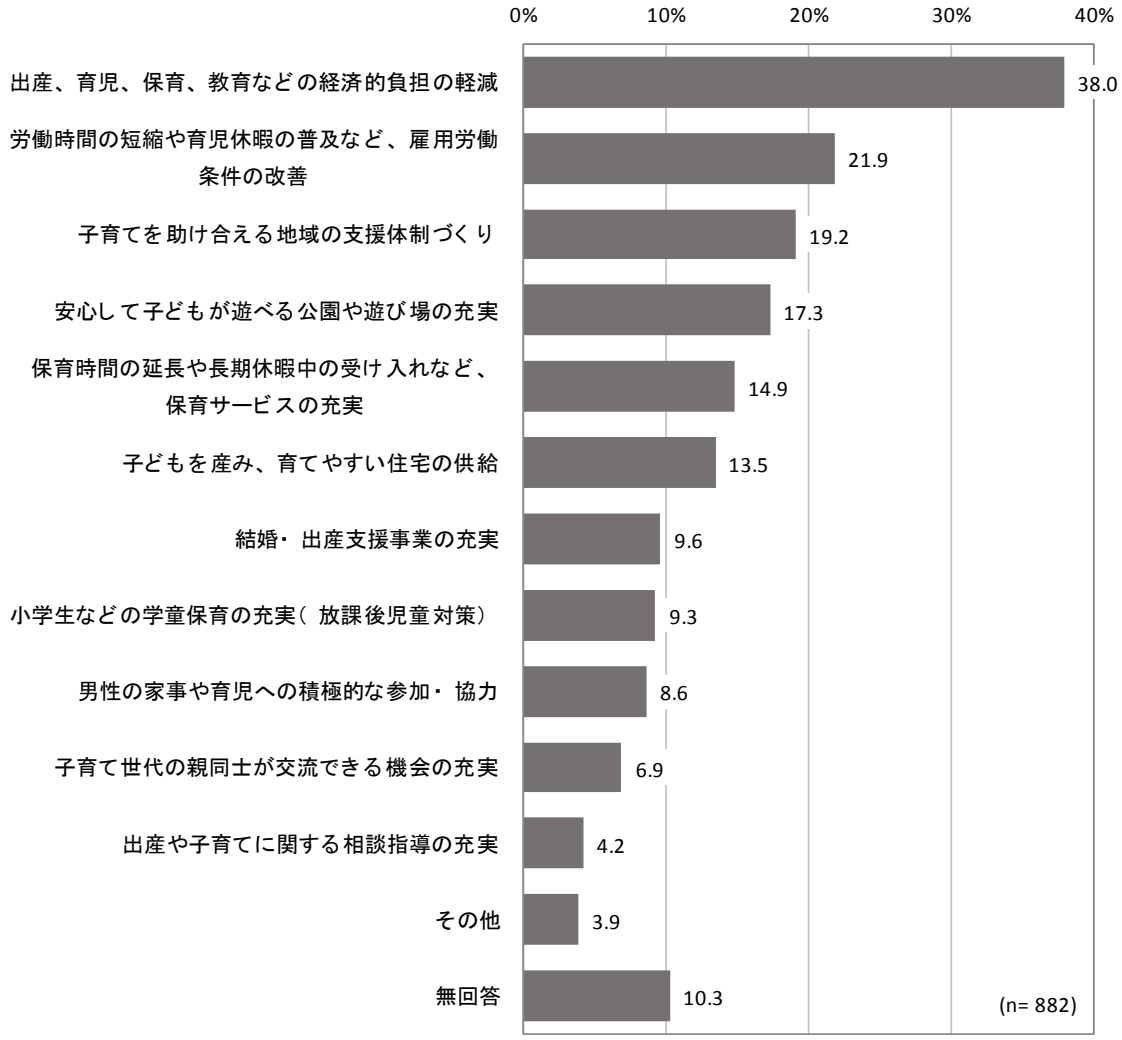
（3）観光・交流の振興に向けて重要なこと

黒松内町の観光・交流の振興に向けて重要なことは、「宿泊や物産販売、飲食などができる場の充実」が 26.2%で最も高く、次いで「黒松内町らしいイベントや交流企画の充実」（24.5%）、「自然や公園など美しい景観の保全」（22.7%）と続いています。



（4）少子化対策として力を注ぐべきこと

少子化対策として力を注ぐべきことは、「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」が 38.0%で突出しており、次いで「労働時間の短縮や育児休暇の普及など、雇用労働条件の改善」（21.9%）、「子育てを助け合える地域の支援体制づくり」（19.2%）と続いています。

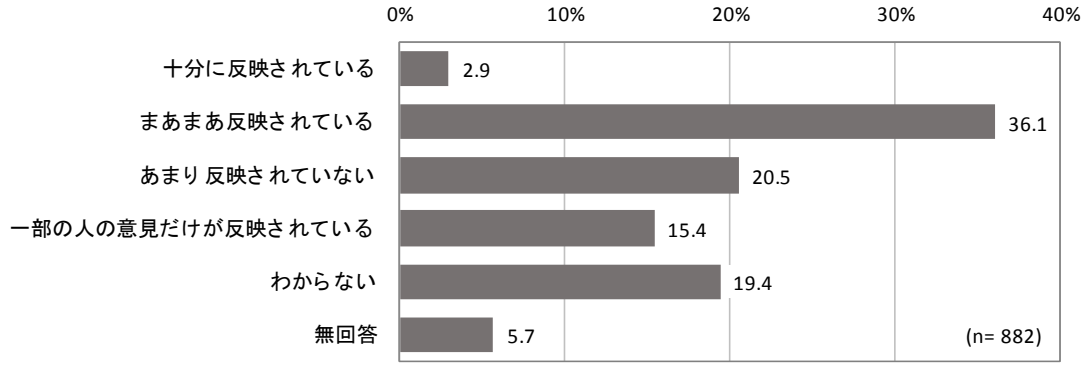


【その他内容】
- 独身者に花嫁対策。
- 小学生以下だけではなく、それ以上の学生のいる家庭などのサービスも必要。
- とにかく働く場所を作ること。そうすることによって人が集まる。若者も増えるというような順番が必要と思うよ。
- 福祉施設をさらに拡大し、若者を暮らす場（働く場としての）としての老人を呼ぶ街づくりを。
- 子育て世代の雇用の場確保・提供。
- 進学を見据えた義務教育の充実。
- 乳幼児の医療体制の改善。

6．まちづくりへの住民参画について

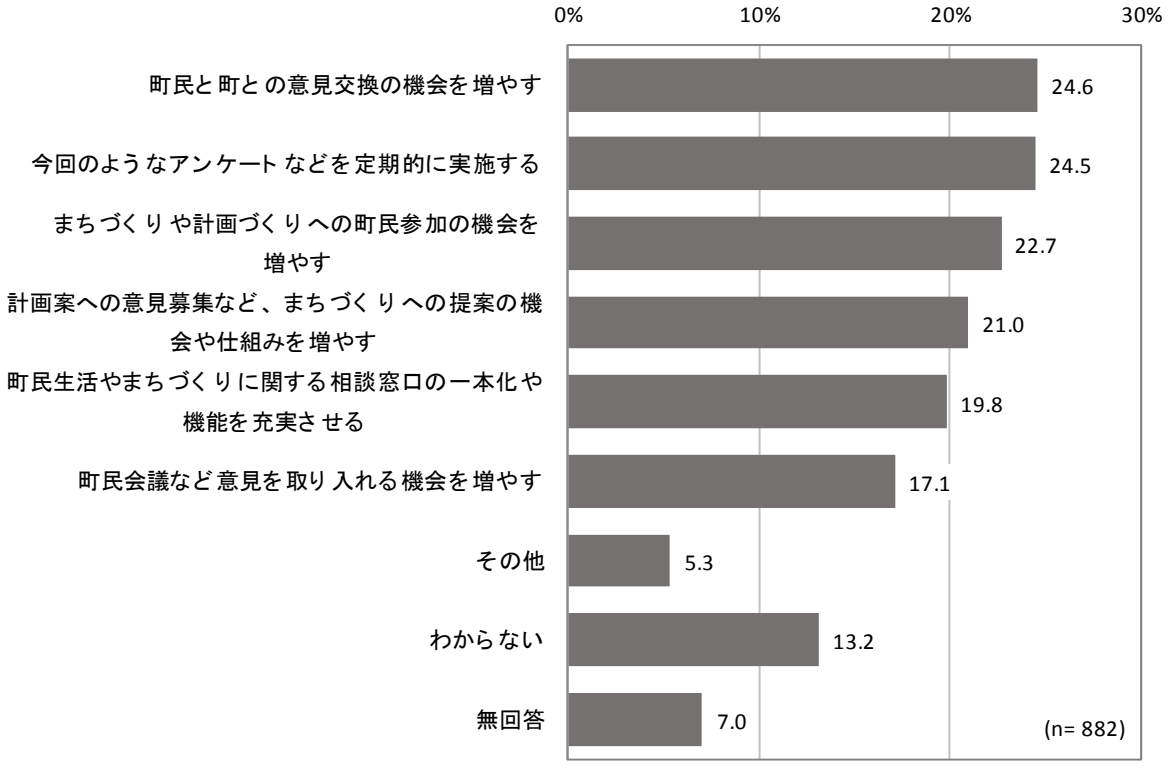
（1）まちづくりに対する町民の意向の反映

町民の意向がまちづくりに反映されていると感じられるかについては、「十分に反映されている」「まあまあ反映されている」の合計は 39.0%で、「あまり反映されていない」「一部の人の意見だけが反映されている」の合計（35.9%）を 3.1 ポイント上回っています。



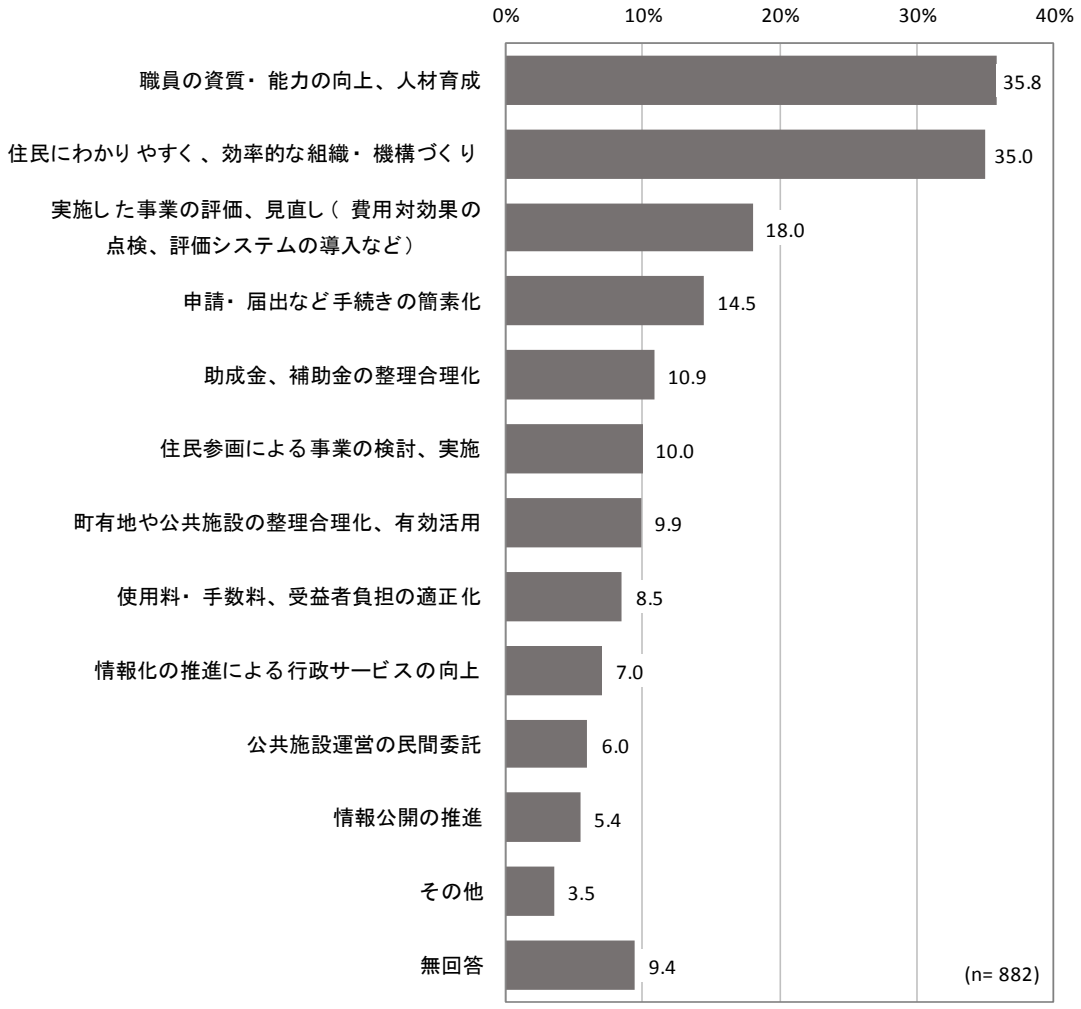
（2）町民の声をまちづくりに活かしていくために大切なこと

町民の声をまちづくりに活かしていくために大切なことは、「町民と町との意見交換の機会を増やす」（24.6%）、「今回のようなアンケートなどを定期的に実施する」（24.5%）が上位回答となっているほか、「まちづくりや計画づくりへの町民参加の機会を増やす」（22.7%）が続いています。



（3）行政サービスや財政運営で、町が特に進めていくべきこと

行政サービスや財政運営で、町が特に進めていくべきことは、「職員の資質・能力の向上、人材育成」（35.8%）、「住民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり」（35.0%）の２つが突出しています。



【その他内容】

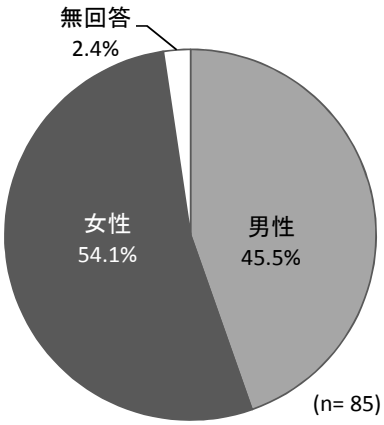
- 町議会議員の資質、能力の向上。
- 町民に対する色々なことを職員（係の担当者）がもっと大事に指導してくれるような課であることを望む。
- 学生が学校へ行きやすい交通関係を整える等、学生が住みやすい町にする。
- 補助金等の手続きに時間がかかりすぎる。
- 町が一番何をやりたいのか具体的に知らせてほしい。
- 無理のない財政運営。
- 部署横断型の課題解決イズムの形成（多様ニーズの集約癖つけ）。
- 町議会での広報をもっと詳しく丁寧に。各議員の出席状況、賛否の状況、議論のテーマ、議会重複。

第３章　中高生向けアンケート集計結果

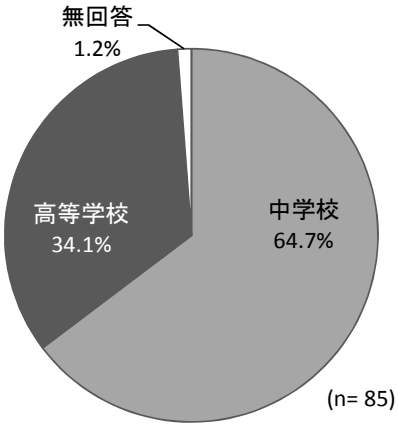
1．回答者の属性

回答者の性別は「女性」が 54.1%で「男性」の 45.5%を上回っています。また、回答者の学校は「中学校」が 64.7%、「高等学校」が 34.1%となっています。

≪回答者の性別≫



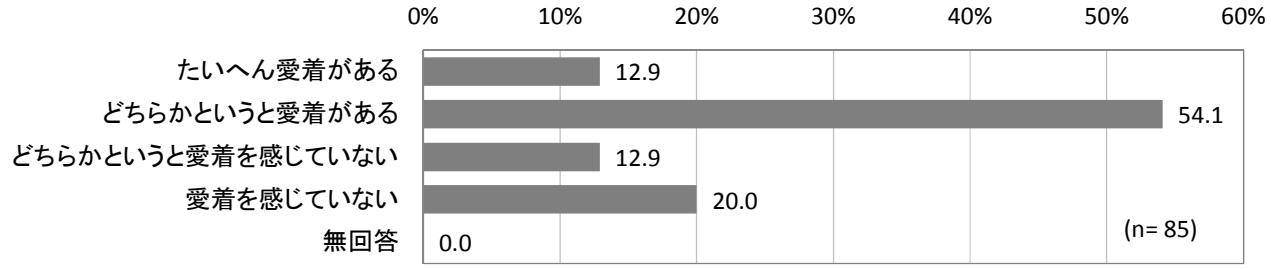
≪回答者の学校≫



2．愛着度と定住意向

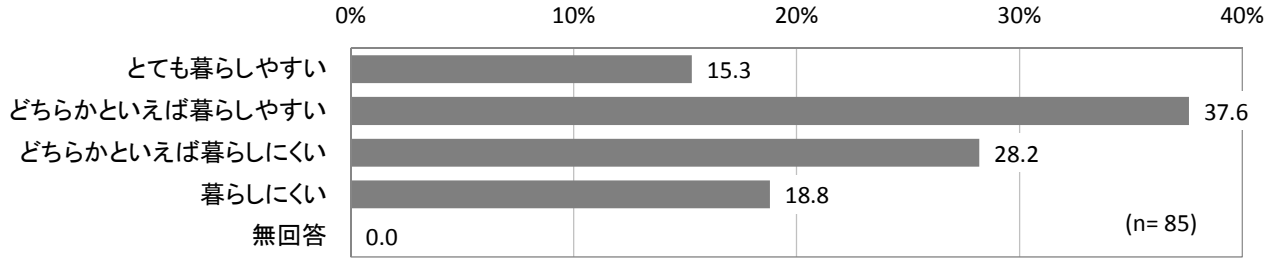
（1）黒松内町への愛着度

黒松内町への愛着度は、「たいへん愛着がある」（12.9%）と「どちらかというと愛着がある」（54.1%）の合計は 67.0%となっており、一般向けアンケート調査結果（80.2%）と比べて愛着度は 13.2 ポイント低くなっています。



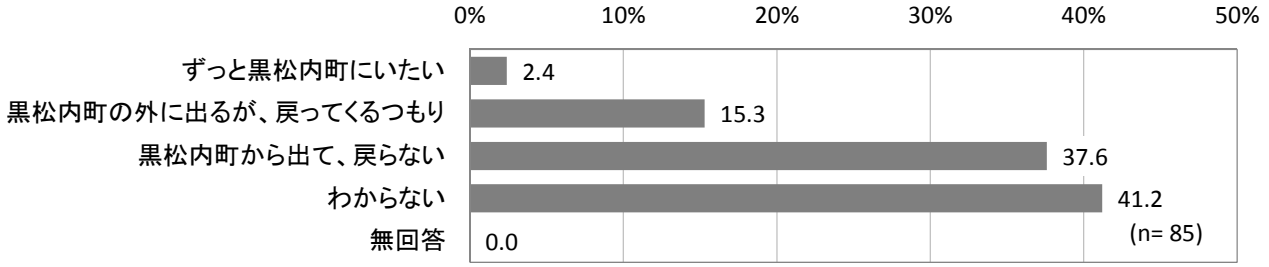
（2）黒松内町での暮らしやすさ

黒松内町の暮らしやすさは、「とても暮らしやすい」（15.3%）と「どちらかといえば暮らしやすい」（37.6%）の合計は 52.9%となっており、「どちらかといえば暮らしにくい」（28.2%）と「暮らしにくい」（18.8%）の合計（47.0%）を 5.9 ポイント上回っています。



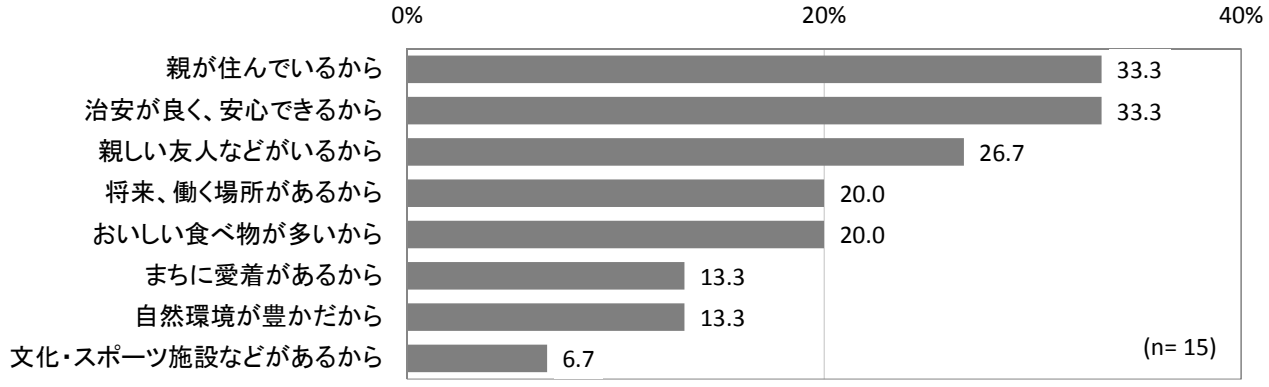
（3）今後の定住意向

今後の黒松内町への定住意向は、「わからない」が 41.2%で最も多くなっているものの、「ずっと黒松内町にいたい」「黒松内町の外に出るが、戻ってくるつもり」の合計 17.7%を「黒松内町から出て、戻らない」（37.6%）が上回っている状況です。



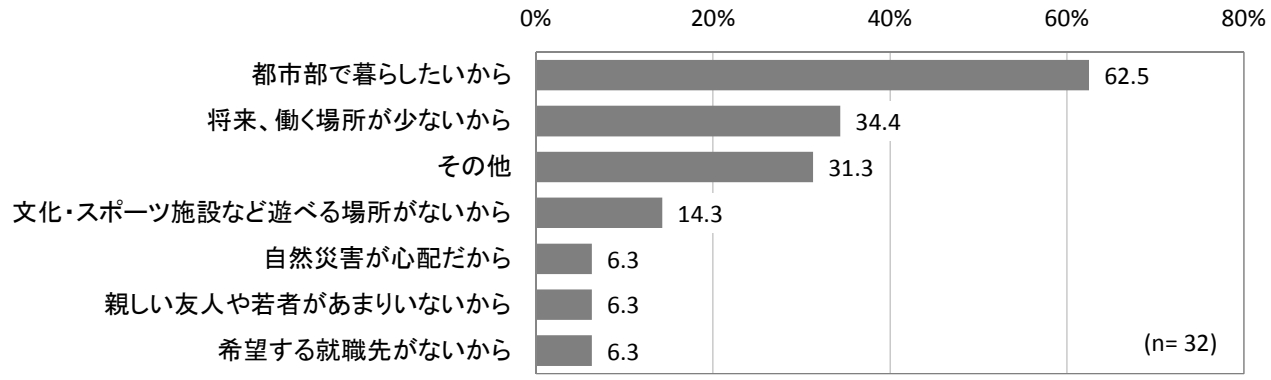
（4）黒松内町に居住したい理由

「ずっと黒松内町にいたい」「黒松内町の外に出るが、戻ってくるつもり」と回答した理由は、「親が住んでいるから」「治安が良く、安心できるから」がともに 33.3%で最も高く、次いで「親しい友人などがいるから」（26.7%）が続いています。



（5）黒松内町に居住したくない理由

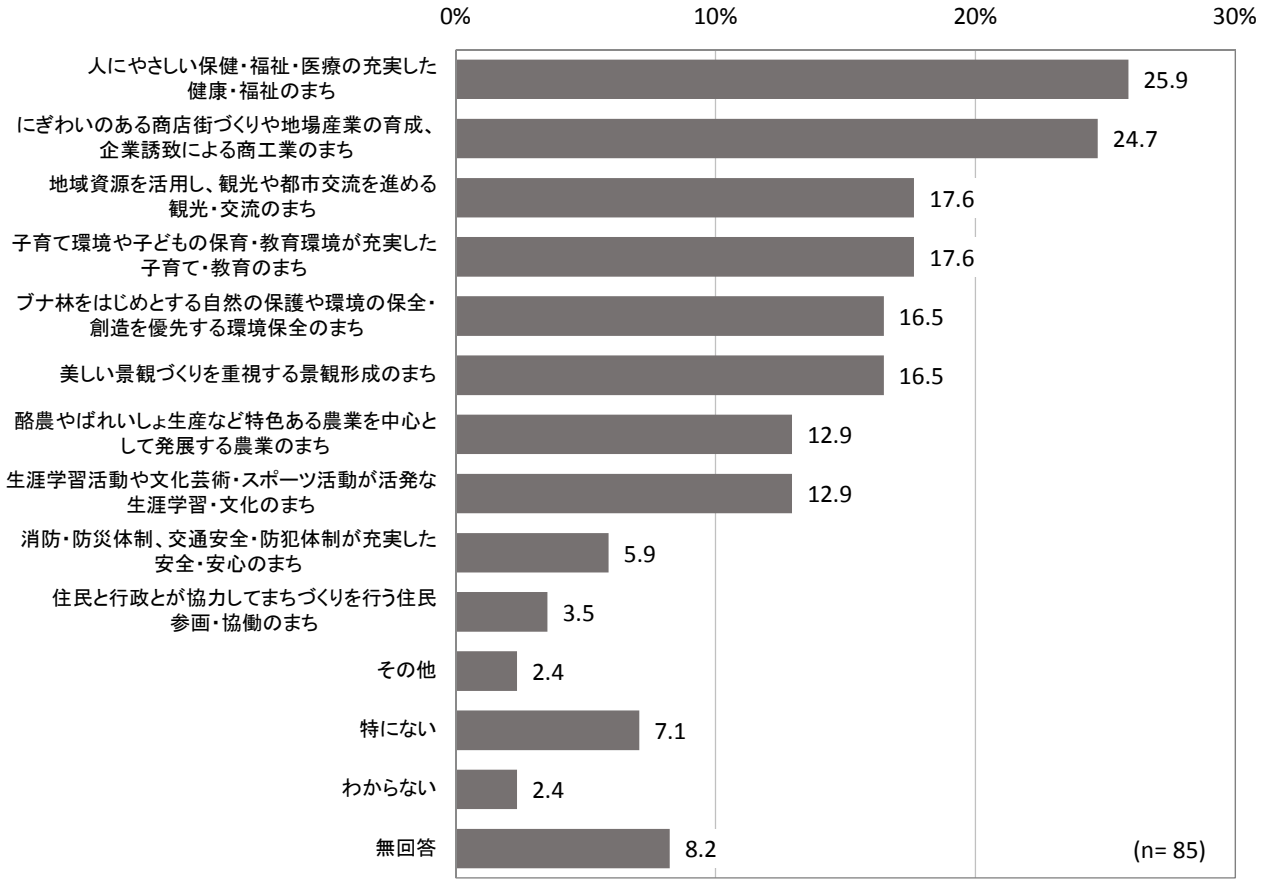
「黒松内町から出て、戻らない」と回答した理由は、「都市部で暮らしたいから」が 62.5%で突出しており、次いで「将来、働く場所が少ないから」（34.4%）が続いています。



3．黒松内町の将来

（1）将来希望する黒松内町の姿

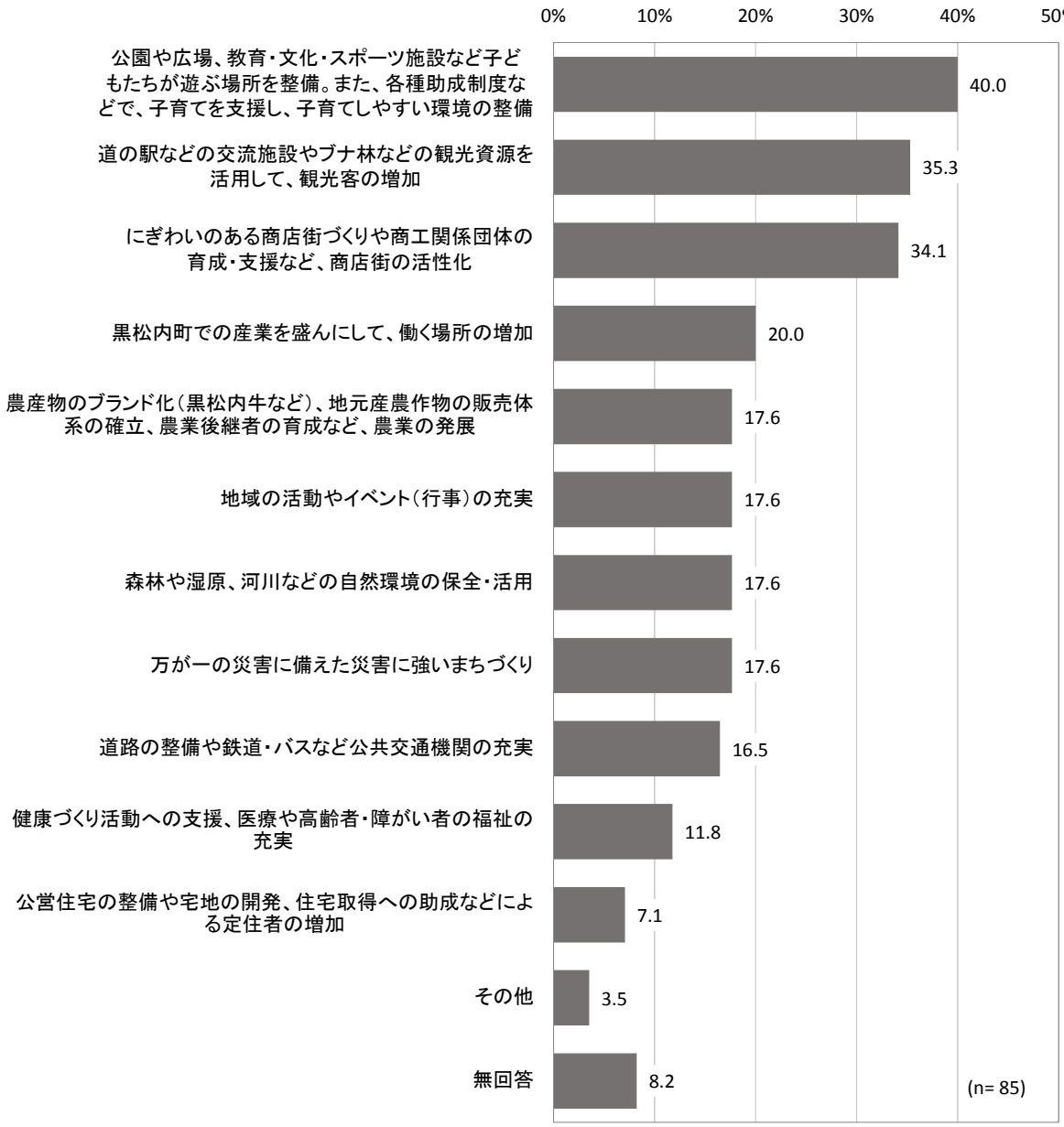
大人になった時、黒松内町がどんなまちになっていたら良いかは、「人にやさしい保健・福祉・医療の充実した健康・福祉のまち」（25.9%）及び「にぎわいのある商店街づくりや地場産業の育成、企業誘致による商工業のまち」（24.7%）が上位回答となっています。



（2）今後、まちづくりで力を注ぐべきこと

黒松内町のまちづくりで今後力を注ぐべきことは、「公園や広場、教育・文化・スポーツ施設など子どもたちが遊ぶ場所を整備。また、各種助成制度などで、子育てを支援し、子育てしやすい環境の整備」の割合が 40.0%で最も高く、次いで「道の駅などの交流施設やブナ林などの観光資源を活用して、観光客の増加」（35.3%）、「にぎわいのある商店街づくりや商工関係団体の育成・支援など、商店街の活性化」（34.1%）が続いています。

問6　黒松内町のまちづくりで、今後どのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。（3つまで○印）



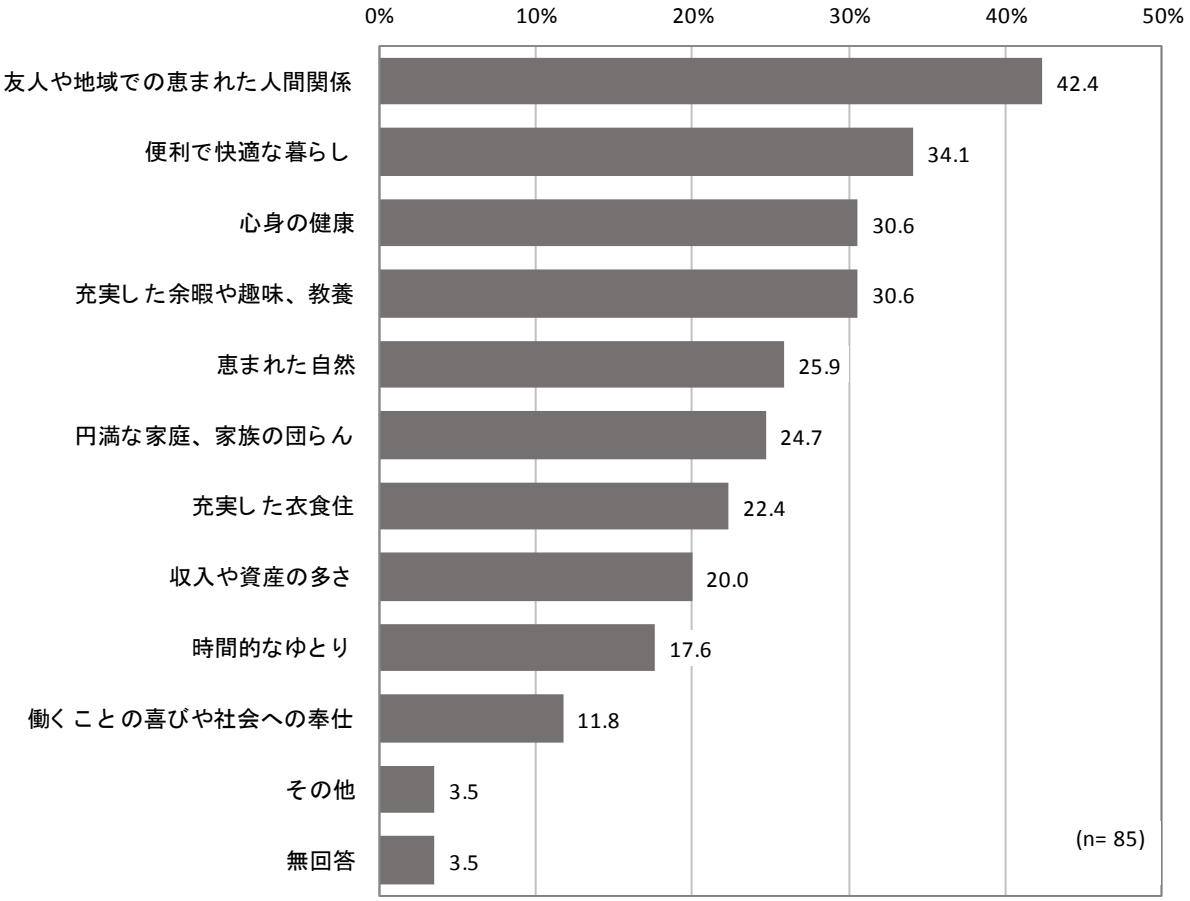
【その他内容】

- 安いマンションを作る。
- 町民みんなが暮らしやすいと思える町とはどんなものか。

（3）幸福感（豊かさ）とは何か

幸福感（豊かさ）とは何かは、「友人や地域での恵まれた人間関係」が 42.4%で最も高く、次いで「便利で快適な暮らし」（34.1%）、「心身の健康」「充実した余暇や趣味、教養」（30.6%）と続いています。

問7　あなたにとって“幸福感（豊かさ）”とは何ですか。（3つまで○印）



【その他内容】
- おいしいものをたべること。
- いろんな先生方と話ができる。
- よくわからない。自分ルールに縛られない自由な生活。